

# 廣讚寺

## ジャーナル

いのちのよび声〜正信偈に学ぶ〜

(二十組 暁天講座に参加して)

六月八日、法敬寺での暁天講座に参加しました。

講師は同朋大学大学院教授の田代俊孝先生。

三蔵流支授浄教 梵焼仙経帰楽邦

正信偈の各一節である。「本師、曇鸞は道教の陶弘景に『長生不老』の術を学び、のちに三蔵法師の菩提流支に出会って阿弥陀仏と無量寿(長さに関係のない命)について学んだ。そして長生不老等というものは愚かな欲望にすぎないと気づき、仙経を惜しげもなく焼き捨てたという。「三蔵」はお経を翻訳する僧侶で複数の僧侶がいた。また「授浄教」とは「観無量寿経」のことと説かれた。先生はこの正信偈二節を解説され人生の終末期に人生を振り返った時、「私の人生これだよ

第101号  
(発行所)  
真宗大谷派 松岡山 廣讚寺  
中村区城屋敷町3-30  
TEL (052) 411-5301  
FAX (052) 411-5341  
携帯 090-1568-4623  
(E-mail)  
matsuoka@kosanji.or.jp



かった」と思えますか、と問いかけられた。

私たちは「豊かな長寿社会」を目指し、ひたすら努力してきました。そして科学は人の寿命を飛躍的に長くのばし、その一方で自分の人生「これでよかった」と思う人がどれだけ増えたでしょうか。長寿がのびたわりには幸せ感や満足感を持てる人が増えていないのが現実です。

秋 空のよつば

藤原敏行 詞

秋 きまぬと目には

さやかりく見えぬとえ

風の音とそ

おどろかれぬ

古今和歌集 一六二九

私たちは満足

感をもって終末

を迎えるにはど

うしたら良いの

でしょう。

ガンを患った

人たちからは年

齢に関係なく

「人生は長きが

ゆえに尊からず、

人生深きがゆえ

に尊し」と言わ

れて亡くなられた方がいること等、若くしてガンになった人たちから、むしろガンになってよかったと思う一面があること等の紹介をされた。また多くの関連語句を引用、解説しながら話された。

・ 仏教の考え方とは有無のとらわれを離れるということ。親鸞聖人はこのことを自然法爾と言われたこと。

・ 私たちは仏の智慧と慈悲のはたらきの中に生かされている。すでに救われているにもかかわらず、私たちの醜い我執が苦しみをつくっている。

・ 奇跡を求めて病気の平癒を祈るのではなく病気や苦悩そのものを引き受けていける身に自身が転じていく学び

・ 価値観の転換によって病気や死を超えていく学び  
このような心構えが私たちにとって意義深く大切なことであると話された。

今回受講して改めて言葉の意味や正信偈の奥深さを気づかされ、親鸞聖人の偉大さに気づかされたこと。

わずか一時間少々の間であつたが梅雨時のつかの間の晴れ間のように気分さわやかに帰路につきました。

秋田

## 日野の里から青蓮院へ(二)

村上三智雄

日野の里(伏見区)から青蓮院(左京区)まではおよそ十キロ(二里半)ほどの道程ですが、六地藏へ戻るバスの途中、石田橋で降りて地下鉄に乗るのが一番便利で早く行くことができます。聖人の頃は山道も多いので半日以上はかかったのではないでしょう。今なら三十分くらいで行けてしまいますので便利になったものですね。

地下鉄東山駅で降りて急な階段をのぼって出たところが三条通りです。初夏で無風に日照りときたら京都の盆地はどこでも湿っぽくてムツとするような暑さです。出口のすぐ東の交差点を南に渡って少し狭そうな坂道を五分ほど上っていくと左側に大きなクスノキが見えてくる。

ここが目的地、天台宗の青蓮院です。門跡寺院で粟田御所とも呼ばれていて、とても有名な寺ですが慈円僧正のもとで松若丸(親鸞の幼少期の名前)が天台僧

として得度された所です。

クスノキを右にみて入ると聖人が剃髪された植髪堂がある。本尊に参った後、壁の上の天井に聖人の誕生から入滅までの絵があります。どなたが描かれたかはわかりませんが聖人のご生涯をたずねるのに役立ちます。ここを出てすぐ左の石段を上ると青蓮院の玄関です。門跡様であることと書道や華道の家元などで格式が高くてなかなか入ることができないのです。

受付から広い廊下と各部屋は、さすが御所から移築された寝殿です。間取りや襖絵・石庭などは素通りして目当ては床間の聖人の和歌の条幅です。「明日ありと  
思ふ心の仇桜・・・」の歌です。住職の慈円僧正は歌  
会の途中だったようで、明日でどうかと断られたのに  
この道のお返しで驚かれ、即、その場で得度式が行わ  
れたと伝えられています。内容から自分の願いと世の  
無常を織り込んだ秀歌と思いますが、わずか九歳(今  
の小学四年生)でこんなすごい歌がうたうことができ  
るのかといつも感心します。ただただ座って合掌念仏  
するのみ。

帰りにはまたクスノキを眺めながら、でっかくなつたな、そして太い幹や盛り上がった根を見て、ああ、この木は八百年の世の移り変わりを黙って私たちに語っているのだなあと思いました。門から左へ坂道を少し行けば法然上人の浄土宗本山、知恩院です。今日は予定通り聖人の得度までの史跡を見学することができたことに感謝しつつ帰路につく。

**行事予定**

八月 四日(木) 二時 常任委員会

十三日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(金) 二時～四時 学習会

二十八日(日) 十時 二十八日講・女人講

お盆休みにお参りください

八月十三日～十五日の期間

本堂にてサイダーを用意しております。

(8時～17時まで)



九月 十日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十一日(日) 八時 庭そうじ

(昼おとぎ後、解散)

十九日(月) 二時～四時 学習会

二十二日(祝) 十時 秋季彼岸会

説教 廣瀬純史師

廣讚寺講総会

おかみそり

二十三日(金)

二十四日(土) 三時 彼岸お勤め

二十五日(日) 住職説教

二十八日(水) 十時 二十八日講総会

【20組行事予定】

九月 七日(水) 長浜別院バス団体参拝

九月 十三日(火) 一時半 ごめいにちの集い

講師 加藤浄恵師

場所 上米野町5-6

智興寺